



こんにちは！言語聴覚士の段です。暖かくなり、心身ともにワクワクしますね！
今回は言語聴覚士の分野である『失語症』について、皆さんにお伝えできたらと思います！
失語症当事者の集い(岐阜市『やすらぎの会』)や意思疎通支援者の活動もしておりますので、
ご興味やお力になれることがありましたら、気軽にお声がけください😊

失語症 当事者の集い

岐阜市、大垣市、揖斐川町に集いがあります！当事者やその家族が集まり、お喋りやレクリエーションで盛り上がっています。失語症者はコミュニケーションの取りづらさから家にこもりがちになります。当事者の集いに参加することは勇気のいる大きな一歩だと感じています。会に参加するたびに、当事者と家族のパワーを感じています！
当事者でなくても、ご興味がありましたらいつでも気軽に参加してください！



失語症者向け意思疎通支援事業とは？

意思疎通を図ることが困難な失語症者に、外出の同行及び外出先でのコミュニケーションの支援を行う意思疎通支援者を派遣しています。通院や役所での手続き、買い物、余暇活動(失語症当事者の集い)等の外出時の同行及びコミュニケーションの支援を行い、社会参加の促進を図ることを目的とした事業です。

Aさんは支援者さんと月1回、喫茶店でモーニングをしています。はじめは緊張していたものの、回数を重ねるごとに慣れていきました。支援者さんと一緒に当事者の集いにも参加できました！目標は、忙しい家族に代わり、支援者さんに受診同行をしてもらうことです。

大切な孫へのメッセージカード

ある利用者様とのエピソードをご紹介します。重度～中等度の失語症がある70代男性 Aさん。

日常生活の簡単な内容の理解はできますが、発話は難しく、相槌や「分からん」「何もやっとならへん」といった決まった言葉以外は出づらい状態です。名前以外の文字を書くことも難しいです。ただ、文字を見て書くことはとてもお上手な方です。

Aさんには中学3年生の双子のお孫さんがいます。普段は真面目なAさんですが、お孫さんの話になるといつも頬が緩みます。今年、お孫さんが受験だったため、「高校合格おめでとう！メッセージを書きましょう！」と提案しました。家族にメッセージを書くのはこれで2回目。1回目は「年賀状」でした。その時はちょっと“やらされている感”があったのですが、今回は「そうやな！」と気持ちに乗っている様子でした😊 Aさんは“聞いて理解”するよりも“読んで理解する”ほうが得意な方なので、今回書いてもらうメッセージは何パターンか用意した中からご本人に選んでもらいました。いろいろなパターンから、伝えたいメッセージを自分で引き抜き、順番も考えてくださいました。また、ご本人自ら“双子だけど別の高校に行くのだから、それぞれに対して1枚ずつ書く”ということ言葉を身振りで伝えてくださいました。メッセージカードのフレームをいくつか用意すると、お孫さんの名前や雰囲気想像して「これはこれ、これはこれやな！」とすぐに選んでくださいました。選んだフレームにとっても丁寧にメッセージを書き、素敵なカードが完成しました★達成感を感じられていました！

後日訪問した際、“(孫に)渡した！喜んでた！！”と笑顔で話してくださいました！普段は思うように言葉を話すことができない分、お孫さんに想いを伝えて喜んでくれたことに嬉しさを感じられたのかなと思いました😊

これからも、利用者様の想いやコミュニケーションを大切にしながら関わっていけたらと思います。

【脳トレ】

Q:「鬱金香」は何と読む？(花)

—— 前回の答え ——

Q:バラバラ漢字 組み合わせて
できる漢字は？

糸 口 口 口 色

答え:絶品



つながる訪問看護リハビリステーション

〒502-0916

岐阜市西中島4丁目2番8 中日本アパレル1階

TEL 058-214-9077 FAX 058-214-9088

Email info@tsunagaru-kango.jp

HP https://tsunagaru-kango.jp

